

「通貨に関する実態調査」の概要

調査目的

- 理財局国庫課は、財務省の任務の一つである「通貨に対する信頼の維持」のために、通貨制度の企画・立案、通貨の円滑な供給、通貨の偽造・変造の防止等を行っている。
- 本調査は、
 - ・ 通貨の仕様等
 - ・ 通貨の利便性
 - ・ 記念貨幣
 - ・ キャッシュレス決済
 - ・ 通貨流通量関係等の通貨に関する国民の意識と利用実態を直接把握することを目的としており、これにより国民の意識や利用実態に即した施策を適時適切に講じることを可能とする。

調査概要

- 通貨に関する国民の意識や利用実態を把握するために必要な質問項目について、一般競争契約（最低価格）により選定した民間調査機関に対し、アンケート調査を委託。
- 委託先の民間調査機関は、全国約1,200人を対象として、郵送によるアンケート調査を実施。質問項目ごとに、地域別、性別、年齢別等に集計したものを調査結果として提出する。

（参考）調査の仕様

対象者	: 全国15～79歳男女約1,200人
サンプリング	: 委託先の民間調査機関が保有する郵送調査の専用パネルから抽出
調査方法	: 郵送調査
集計分類	: 地域、都市規模、性別、年齢、職業、世帯年収
調査実施	: 令和3年1月29日～3月9日

令和2年度 通貨に関する実態調査 質問項目（全21問）

通貨の仕様等（3問）

- 【問1】新しい日本銀行券の認知度
- 【問2】新しい五百円貨幣の認知度
- 【問3】通貨の種類について感じる事

通貨の利便性（3問）

- 【問4】日々の買い物や飲食店での支払いでよく使用する貨幣
- 【問5】自動販売機等で返却される頻度
- 【問6】金融機関等で両替や引き出しができなかった経験

記念貨幣（3問）

- 【問7】記念貨幣への関心度
- 【問8】記念貨幣を入手した理由、知ったきっかけ
- 【問9】記念貨幣を入手したことがない理由

キャッシュレス決済（9問）

- 【問10】支払金額別に利用する決済手段
- 【問11】現金での支払いを断られた経験
- 【問12】支払い方法別の1週間当たりの平均利用金額
- 【問13】支払い場所ごとの決済手段、キャッシュレス決済を使用する理由
- 【問14】キャッシュレス決済を利用しない理由
- 【問15】キャッシュレス決済の課題
- 【問16】数多くのキャッシュレス決済サービスが登場してる状況について感じる事
- 【問17】キャッシュレス決済サービスについて、将来的に実現してほしいこと
- 【問18】キャッシュレス決済が利用可能な状況で現金を使う理由、現金が必要な場面

通貨流通量関係（3問）

- 【問19】現金の保有量（財布、自宅）、自宅で現金を保有する理由
- 【問20】通貨の保有量の変化
- 【問21】「五百円玉貯金」の増加量